

のせ通信 (仮)

株式会社 能勢建築構造研究所



京都 嵐電 北野白梅町線
鳴滝～宇多野駅間 桜のトンネル

のせ通信

二〇二四年春 第一号

目次

- 当社の歴史について I
- たび・旅・etc .
- 徳島へ出張しました
- 歩くこと
- 神社に参ろう〜住吉大社〜
- 建物探訪 南海本線 浜寺公園駅
- 私の二十代頃からのレシピ ツナムース

歩くこと

わたしの趣味という題で何か書くように依頼を受けたが、これといって趣味は無く仕事に興味だ、といっても冗談にもならないので、休みの日にできるだけ心がけていることを書きたいと思います。普段の日は机に座りきり運動不足なので、休みの日はできるだけ運動不足とストレス解消のために外に出て緑のある所を歩くようにしています。一番のストレス解消は仕事を辞めることだが、家族がいると不可能なので。普段は通ることが無い家の近所を歩くだけのこともありますが、よく訪れるお気に入りの場所が2箇所あって、その内の一つが萩原天神です。家からだと嫁と二人で途中田圃でも見ながらゆっくり歩いて片道30分くらいなので、春とか秋とか気候の良いときには往復するとちょうどいい運動になります。写真は桜の写真ですが、天神さんだけあって梅がきれいです。



江戸時代、明和年間（1760年代頃）の旧本殿です。

桜の花もきれいだけどもそれ以上に梅の花はきれいだと思う。花の色が白、黄色、ピンク、赤と桜よりも多様だし、花の姿、形も大小様々でいろいろな花を楽しむことができます。少し寒いけど梅の咲く頃に行くのが一番いいです。もう一箇所は、堺市内にある大仙公園内の日本庭園です。庭園内には池や川があり、その廻りを一周できるようになっています。池に面して休憩所があり、そ

こで抹茶と和菓子を楽しむこともできます。一年中緑は豊かですが、季節としては秋の紅葉の頃が一番よく、運が良ければカルガモの親子や白鷺を見ることができま。公園自体が広く、庭園に入らなくても公園内を散策するだけでも結構な運動になります。

パソコンやスマホを指でいじくっても何も体感できません。家の近所の普段余り歩かない道を歩くだけでも意外な発見があったりして楽しく、気分転換になります。外を歩くのはいいものです。

日本、外国問わずレトロな建物全般が好きです。そのなかでも駅舎とか教会とか町のシンボリックな建物が好きです。

駅舎といえば、辰野金吾氏によって設計され、最近改修された東京駅丸の内駅舎が思い浮かびます。これからも将来に渡って、歴史と風格ある姿を残し続けてほしいです。

今回、紹介するのは辰野金吾氏の設計の南海本線の浜寺公園駅舎です。

浜寺公園は昔、大阪からのリゾート客で大変賑わっていて、遊園地もあつて子供の頃、親戚の叔父さんによく連れて行ってもらった思い出があります。

今は残念ながら少し寂れていますが、駅舎の美しさは健在です。



木造平屋の駅舎で、平成10年9月に登録文化財に指定されています。

玄関の軒は、綺麗に装飾され、アーチを描いた青みがかった柱で支えられています。少し下がって全景を見渡すと赤くつやつやした屋根が美しく、広がりのある風格的な姿が印象的です。

目を閉じれば、華やかだったころの情景が思い起こされる・・・

そんな駅舎です。